

# 令和6年度 保健所圏域 地域・職域連携推進事業実績報告（保健所圏域別一覧）

**記載内容**：※大阪府健康づくり課にて集約し、大阪府地域職域連携推進協議会〔3月開催〕において、府内保健所の取組み資料をまとめ、報告します（予算執行結果除く）。

※令和6年6月27日付健第1850号（地域・職域連携推進事業に関する調査への回答について）で取りまとめた内容をまとめたものとなります。赤字で時点更新（令和6年度末までの見込含む）と「結果・課題」の新規記載をお願いします。

府管保健所においては、国補助金報告のための「予算執行結果」の新規記載をお願いします。

「取組区分」⇒◎：地域職域連携推進協議会、○：協議会以外の会議（ワーキング等）、●：会議以外の取組

「取組名」⇒会議名や事業での取り組んでいる事業名

「実施月」⇒実施月（可能な範囲（例：10月～12月等）で記載）

「取組分野」⇒該当する取組みに○（複数の内容にまたがる場合は、該当項目のすべてに○を、主な目的となるもの一つに○を記載）※赤字項目は、健第1850号の調査結果からの追加記載となります。

「取り組む地域の健康課題」⇒取組みを進めるとの、地域の健康課題について、主なものを記載。

「目的・内容・対象 等」 $\mapsto$ 取組みにおける目的・内容・対象等について 概要を記載

「目的・内容 対象、」⇒取組みの結果と取組みを踏まえた課題についてそれぞれ記載

「結果・課題」・取組の実績と取組のと路線した課題について記載。  
「予算執行結果」(府管保健所のみ) ⇒ 内訳は 営業 回数 時間等がわかるように記入ください 配当額から実績会計額の差が 引き上げ額となるか確認ください

二次 医療圏	保健所圏域		取組 区分	取組名	実施月	取組分野										目的・対象・内容 等 取組む地域の健康課題	結果・課題								
						生活習慣病発症予防			早期発見重症化予防		生活機能維持・向上		社会環境整備		その他										
	●：府管 ○：政中市	名称				栄養・食生活	身体活動・運動	休養・睡眠	飲酒	喫煙	歯と口の健康	健診	がん検診	重症化予防	ロコモ	フレイル	メソナルヘルス	ヘルスリテラシー・PHR等	ICT(ヘルス)	社会環境整備	健康経営	その他			
01豊能	●	01池田保健所	◎	池田保健所管内 地域職域連携推進協議会	R7年02月	○						○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	【目的】 地域職域における連携事業の決定と次年度の取組に関する検討 【内容】 ・ワーキング会議における活動報告（健康課題と連携事業案について） ・各組織における個別取組報告 【対象】 管内医師会、市町健康・国保・後期高齢担当課、商工会議所・商工会、ダイハツ工業（株）	【結果】 ・次年度もワーキング会議にて具体的な取組計画を策定し、協議会にて合意形成する体制で進める。 ・「栄養・食生活（野菜）」、「糖尿病」、「健康経営」をテーマに具体的な取組を推進する。 ・栄養・食生活は口腔やオーラルフレイルと密接な関係があることから、これらも反映できるようワーキング会議で情報提供しつつ方向性を検討する。
01豊能	●	01池田保健所	○	池田保健所管内 地域職域連携推進事業 ワーキング会議①	R6年07月	○										○					○	○	○	【目的】 データによる管内の健康課題の抽出と地域職域における連携事業の計画作成 【対象】 市町健康・国保・後期高齢担当課、商工会議所・商工会、協会けんぽ、ダイハツ工業（株） 【内容】 1.地域・職域連携推進事業の意義と今年度の進め方について 2.講義：データから見える豊能地域の特徴について(大阪大学大学院医学系研究科 公衆衛生学 村木功氏) 3.グループワーク：栄養・食生活を切り口とした生活習慣病の発症予防について (1)管内の健康課題の抽出と共有 (2)今年度の取り組みの内容について (3)発表 4.講師より講評 5.情報提供	【結果】 管内の市町ごとの健康課題の違いについて情報共有し、課題の優先順位の決定、取組目標の案について意見交換を行った。取組目標の案については、意見交換したが、決定までには至らなかった。 【課題】 2回目ワーキング会議までに各機関に、事前にアンケートにて取組目標に関する意見を募り、2回目の会議で取組計画や評価指標について検討することを提示した。
01豊能	●	01池田保健所	○	池田保健所管内 地域職域連携推進事業 ワーキング会議②	R6年09月	○										○			○	○	○	○	○	【目的】 栄養・食生活についての取組目標と取組内容や計画の作成 【対象】 市町健康・国保・後期高齢担当課、商工会議所・商工会、協会けんぽ、ダイハツ工業（株） 【内容】 1.【説明】 本日の進め方について 2.【取組紹介】 大阪大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学 准教授 村木 功氏 3.【グループ別意見交換①】 活動計画の作成 4.【発表】 各グループからの発表 5.【グループ別意見交換②】 評価指標の作成 6.【講評】 大阪大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学 准教授 村木 功氏	【結果】 会議当日までに事前に、取組目標に関するアンケート集計ができたことにより、当日スムーズに取組目標が決定（「野菜に関する取組」となった）。各機関が自組織で取組めそうな内容について、取組の計画・評価指標の案を作成し、意見交換できた。 【課題】 今年度中から自組織での取組を開始できた機関については、協議会にて取組報告を行い、共有をはかる。
01豊能	○	02吹田市	○	健康すいた21推進懇談会	R6年08月 R6年11月 R7年2月	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○									○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	【目的】 市民一人ひとりが、主体的に健康づくりに取り組むことで健康の保持・増進を図ることを目的に、健康づくりの取組に関して関係機関が連携し、必要な意見交換を行うため 【内容】 ・健康づくりに関する計画の策定・推進・評価に関する事項 ・健康づくりの推進を目的とした関係機関の情報交換、情報共有及び連携に関する事項 【対象】 市民、大学、医師会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、商工会議所、栄養士会等	【結果】 今年度から、全国保険協会大阪支部と大阪産業保健総合支援センターに健康づくりに関する計画の推進等に係る会議に参画してもらい、地域と職域での健康課題や取組等について意見交換を行いました。 【課題】 対象者の居住地と勤務地が異なることが多く、単一の市町村が進めるのは難しい。	
01豊能	○	03豊中市保健所	○	協会けんぽ 被扶養者集団健診におけるがん検診の啓発	R6年08月～							○							○	○	○	○	○	【目的】 がん検診等を実施していない被扶養者・その被扶養者に対し、市のけんしんを周知し受診勧奨することで、自身の健康管理に役立てもらう。 【内容】 豊中市内の協会けんぽ被扶養者の集団健診において、市のがん検診受診奨励を実施 【対象】 協会けんぽの被扶養者	【結果】 豊中市内の協会けんぽ被扶養者の集団健診会場にて、市のがん検診受診奨励を実施（R7.1.22時点で計5回、299人）。「市のがん検診が無料なの知らなかつた」「受けいなかつたけど受けみてよかん」等、好意的な意見が多数を占めた。 【課題】 マンパワー、評価方法



二次 医療圏	保健所圏域		取組 区分	取組名	実施月	取組分野										目的・対象・内容 等	結果・課題					
	●：府管 ○：政中 市					生活習慣病 発症予防					早期発見 重症化予 防		生活機能 維持・向上			社会環境 整備						
	○	名称				栄 養 ・ 食 生 活	身 体 活 動 ・ 運 動	休 養 ・ 睡 眠	飲 酒	喫 煙	歯 と 口 の 健 康	が ん 検 診	重 症 化 予 防	口 コ モ	フ レ イ ル	骨 粗 鬆 症	メ ン タ ル ヘル ス	ヘル ス リ テ ラ シ ー ・ 気 運 醸 成	I C T ( P H R 等) 活 用	社 会 環 境 整 備	健 康 經 営	其 他
03北河内	○	06寝屋川市	○	働く人の健康づくり会議	R6年10月10日	○	○			○	○	○				○	○	○	○	【目的】 現場レベルでの意見交換の場を設け、従業員の健康維持・向上に活かせるようにする。それを本会議で報告し、働く世代の健康づくりの現状の理解を深め、連携事業につなげられるようにする。 【内容】 ・寝屋川市から健康状況等の報告 ・健(検)診を実施している医療機関「小松病院」からの取り組み報告 ・情報交換(グループワーク) 【対象】 令和5年度働く人の健康づくり会議に参加した事業所、健康優良法人2024大規模(ホワイト500除く)の企業、健康優良法人2024中小規模法人部門(ライト500の企業、健康優良法人2024 中小規模法人部門(ライト500除く)の企業、全国健康保険協会大阪支部、健康宣言事業所、北大阪商工会議所寝屋川支所、大阪建設国民健康保険組合寝屋川支所、寝屋川市(人事室、保健総務課)	【結果】 今年度で3年目の実施。事業所(新規含む)は7事業所、大阪建設国民健康保険組合、寝屋川市(人事室、保健総務課)が参加した。グループワークでは無関心層への対応の難しさの共有と工夫について活発な意見交換と情報共有が行われた。会議の開催にあたって、寝屋川市商業団体連合会と本市の産業振興室の協力を得て参加するまでには至らなかつたものの、本会議の存在を広く周知することができた。 【課題】 他事業所の健康づくりの取り組みについての情報を得る機会が少ないとから、この会議において情報交換は継続していきたいと考えるが、今後は新規の事業所を増やしていきたい。 今年度から、寝屋川市商業団体連合会と本市の産業振興室とも連携し、広く参加を呼びかけたが、参加事業所数は増えなかった。関係機関との連携をさらに深めていきたい。	
03北河内	○	06寝屋川市	○	地域・職域連携推進会議	R7年02月	○	○			○	○	○				○	○	○	○	【目的】 生涯を通じた健康づくりと生活習慣病を予防し、健康寿命の延伸を図る。 【内容】 ・重症化予防事業の取組について ・がん検診について ・働く人の健康づくり会議の報告、寝屋川市における地域・職域連携の現状 ・意見交換 【対象】 医師会、歯科医師会、薬剤師会、関西医科大学香里病院、全国健康保険協会大阪支部、大阪建設国民健康保険組合寝屋川支所、北大阪労働基準監督署、北大阪商工会議所寝屋川支所、北大阪地域産業保健センター、寝屋川市(産業振興室、保健所保健総務課、人事室)	【結果】 令和7年2月12日(水)に地域・職域連携推進会議の実施。 医師会、歯科医師会、薬剤師会、全国健康保険協会大阪支部、大阪建設国民健康保険組合寝屋川支所、北大阪労働基準監督署、北大阪商工会議所寝屋川支所、特定非営利活動法人日本経営機構、寝屋川市(産業振興室、保健所保健総務課)の9機関の参加。 【課題】 大阪府作成の健康カルテ、ダッシュボードのデータを活用を考慮していく。産業振興室との連携の感想を聞いたり、働く人の健康づくり会議での意見を分かりやすく反映できるようにする。	
03北河内	○	06寝屋川市	●	出張乳がん検診	R6年09月					○									【目的】 仕事を理由に検診未受診の方がいるため、働く人の健康づくり会議出席者に職員周知の協力の依頼を行ったが、職域関係者が必ずしも市民でないこともあり検診申込件数は少なかった。	【結果】 ・事業所で働く人を対象とした企業枠は3枠利用があり、アンケートで満足と回答があった。事業所でがん検診が実施されない市民に対して乳がん検診の利用機会とすることができた。 ・予約用と当日受付用の検診枠を用意して実施。予約用がすぐに定員に達したため当日受付枠のアナウンスをした結果、検診当日の開始時刻に市民が殺到し来所順番があいまいとなる混雑が生じた。 【課題】 ・開催場所によって当日受付用の検診枠の運営を考える必要がある。 ・また、来年度は今回検診を実施した商業施設実施の近くに乳がん検診を実施可能な医療機関が開業予定であり、出張乳がん検診の実施場所は再考する必要性がある。		
03北河内	○	06寝屋川市	●	全国健康保険協会の扶養者健診での啓発	R6年06月～R7年01月ごろ	○		○	○	○					○			健診会場で市のがん検診の受診勧奨と、生活習慣病予防、禁煙など健康づくりの啓発	【結果】 ・5か所に出務。反応はよく、気になることや検(健)診についての相談があった。 ・受診者の反応として、「カロリー摂取量が気になるので、どれ位あるか教えてほしい。」、「骨粗鬆症や更年期、コレステロール値が気になる」、「がん検診最近受けていない」といった声が聞かれた。 【課題】 未受診者や受診控えをしている市民への受診勧奨や女性が多いので、骨粗鬆症について等の資料・媒体の準備を来年度はしていく必要あり。また、寝屋川市地域・職域推進会議へは全国健康保険協会大阪支部職員の参加を予定している。			
03北河内	○	06寝屋川市	●	北大阪商工会議所の従業員健診会場での啓発	R6年07月	○	○		○	○	○				○			健診会場で市のがん検診の受診勧奨と、生活習慣病予防、禁煙など健康づくりの啓発	【結果】 ・四條畷保健所と共同し受診者にアンケートを実施。がん予防、禁煙、栄養バランスのよい食事、お口の健康、適度な運動の5項目の中で関心度が高い項目にシールを貼つてもらい、関心度の高い内容を調査した。がん予防についての興味がある若年層の受診者の声が聞かれた。 ・結果は、栄養バランスのよい食事、がん予防、適度な運動が多かった。また、がん検診については興味があるが、検診には行ってないなどの声も聞かれた。 【課題】 ・若年層の受診者が多いため、受診者に関心を持ってもらえるようがん検診のブースやチラシ作りを準備していきたい。 ・また、令和7年1月15日に四條畷保健所、枚方市、北大阪商工会議所との報告会を開催した中で来年度もがん検診の継続とがん予防、栄養バランス、運動についての啓発をしていくことが決定したため準備と実施に向けて取り組んでいく。			
03北河内	○	06寝屋川市	●	大学の健康祭や、地域のイベントでの啓発	R6年04月～				○	○		○			○			若年層へのがん検診受診勧奨、がん・疾患の予防や、禁煙等について健康情報の提供を行っているが、受診率向上に繋がらない。	【結果】 ・例年、大阪公立大学工業高等専門学校の喫煙防止教室で講師派遣依頼があり、2年生を対象に講話を実施。学生たちの大半は、真剣な様子で聴講していた。大学での啓発は通路でリーフレット等を配布する際、反応の良かった学生をそのまま会場内へ誘導し、できるだけ多くの学生に啓発できるよう努めた。 【課題】 ・喫煙防止教室では新型たばこの話を盛り込んでいたが、アンケートで「様々な種類のたばこについて取り上げほしい」と意見があり、来年度は新型たばこについて、さらに情報を加える必要がある。			

二次 医療圏	保健所圏域		取組 区分	取組名	実施月	取組分野										目的・対象・内容 等	結果・課題				
	●：府管 ○：政中 市					生活習慣病 発症予防					早期発見 重症化予 防		生活機能 維持・向上			社会環境 整備		その他			
	●	名称				栄 養 ・ 食 生 活	身 体 活 動 ・ 運 動	休 養 ・ 睡 眠	飲 酒	喫 煙	歯 と 口 の 健 康	が ん 検 診	重 症 化 予 防	口 コ モ	フ レ イ ル	骨 粗 鬆 症	メ ン タ ル ヘル ス	I C T ( P H R 等) 活 用	ヘル ス リ テ ラ シ ー ・ 気 運 醸 成	社会 環 境 整 備	健 康 經 営
03北河内	○	06寝屋川市	●	特定健診実施医療機関・歯科医院・薬局に受診勧奨チラシ、ポスターの配布	R6年04月～			○	○	○	○				○				若年層から高齢層へのがん検診・特定健診・歯科健診の受診勧奨と、生活習慣病予防など健康づくりの啓発	【結果】 ・令和6年11月29日(金)南コミュニティーセンターで出張特定健診実施。58人参加。 【内容】 啓発チラシ・ポスターの配布、案内チラシの配布、出張・休日特定健診の実施。 【対象】 市内の特定健診実施医療機関、歯科医院、薬局、ドラッグストア	【結果】 ・令和7年2月23日(日)保健福祉センターで午前中休日特定検診の実施。101人申込み、96人参加。 【課題】 ・若年層の特定健診受診率向上のため、休日特定健診の開催回数を増やす等、受診しやすい機会を作る
03北河内	●	07守口保健所	○	地域職域連携推進全体会議(書面開催、Web会議含む)	R6年08月、R7年03月	○	○	○							○	○			○事務局機能や各関係機関との連携はできている。 ○生活習慣病に関する指標が具体的に悪い。 ○令和6年度の取組み内容は、生活習慣病を予防するための運動に決定。	【目的】 地域と職域が連携し、地域全体の健康課題を解決する方策を検討することにより、住民が生涯を通じて継続的な健康支援を受けられる基盤づくりを目指す。 【内容】 8/5：第1回全体会議 1) 本会議の経緯について報告 2) 令和6年度運動の取組み内容の決定 3/13：第2回全体会議 1) 今年度の取組み内容報告 2) 今年度の自組織の取組・取組案報告 3) 来年度の取組み内容計画の承認 【対象】(地域) 守口市・門真市(保健衛生・国保部門)、守口市教育委員会、門真市教育委員会、守口市医師会、門真市医師会、守口市歯科医師会、門真市歯科医師会、守口市薬剤師会、門真市薬剤師会 (職域) 北大阪労働基準監督署、北大阪産業保健センター、守口門真商工会議所、全国健康保険組合大阪府支部協会けんぽ、パナソニック健康保険組合	【結果】 ・各組織の取組について共有することができた。 ・全体での取組の方向性を承認してもらうことができた。 【課題】 個別で機関を超えた共同実施を行うことは難しい。
03北河内	●	07守口保健所	○	地域職域連携推進ワーキング会議(Web会議含む)	R6年06月、R6年9月、R6年11月	○	○	○						○	○			【内容】 6/4：第1回ワーキング 1) 「運動」の具体的な取組み内容の検討 2) 自組織の取組みの推進 9/9：第2回ワーキング 1) 「運動」の取組み作業等 2) 自組織の取組みの推進 11/13：第3回ワーキング 1) 「運動」の取組み作業等 2) 自組織の取組みまとめ 3) 令和6年度以降の取組み検討 【対象】(地域) 守口市・門真市(保健衛生・国保部門)、守口市教育委員会、門真市教育委員会、守口市医師会、門真市医師会、守口市歯科医師会、門真市歯科医師会、守口市薬剤師会、門真市薬剤師会 (職域) 守口門真商工会議所、全国健康保険組合大阪府支部協会けんぽ、パナソニック健康保険組合	【結果】 ・今年度より始まった運動の取組について、各組織での取組が少しずつ広がってきている。 ・参加者の事後アンケートにて、68.8%が「自組織で何ができるか自分で考えることができた」の項目において、よくできた、少しだったと回答。 ・自由記載で、本会議をきっかけに取組を始めたと回答あり。 【課題】 ・商工会も参加したいと思える取組の検討が必要。 ・運動について取り組んだことのない機関が多く、メニューの作成など取組内容を考えるのに難しさを感じている。		
03北河内	●	08四條畷保健所	○	地域・職域連携推進協議会	R7年01月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高血压有病率が高い。 健診未受診 生活習慣の乱れ (特に禁煙)	【目的】 地域の市民がライフステージごとで途切れることなく、生涯を通じて健康づくりの取組がはかれること 【内容】 今年度の各部会の取組報告、意見交換等 ・日時：令和7年3月7日(金) 14時～16時 【対象】 医師会、薬剤師会、管内市健康づくり部門、国保部門、人事部門、教育委員会、協会けんぽ大阪支部、事業所等	【結果（見込み）】 日時：令和7年3月7日実施予定 ・今年度の事業検討部会・けんしん・保健指導向上部会の取組内容を報告予定。 ・次年度事業検討部会の構成機関である事業所と共に地域と事業所向けの講演会を開催予定。 ・また次年度は事業検討部会にて3年間取組を評価しつつ事業所参加者の拡充を目指しオープン会議とする旨報告予定である。 【課題】 健康づくりにおいて職域(事業所)が地域と連携することにメリットを感じる取組を検討する必要がある。	
03北河内	●	08四條畷保健所	○	地域・職域連携推進協議会 事業検討部会	R6年06月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高血压有病率が高い。 健診未受診 生活習慣の乱れ (特に禁煙)	【目的】 地域の市民がライフステージごとで途切れることなく、生涯を通じて健康づくりの取組がはかれること 【内容】 大阪府地域・職域連携推進協議会に係る基本方針の共有 ・1回目(6月14日) (令和4年度に地域と職域で立てた取組計画に基づい) 今年度の取組の検討 令和7年度(取組計画作成より3年目)の評価に向けた評価指標の選定について意見交換 ・2回目(11月13日) ・取組の進捗状況の確認 ・評価指標案の選定 【対象】 管内市健康づくり部門、国保部門、人事部門、教育委員会、協会けんぽ大阪支部、事業所等の実務者	【結果】 第1回：令和6年6月14日(金) 10時～12時 第2回：令和6年11月13日(水) 10時～12時 ・今年度の取組内容と次年度取組の評価を行なうため評価指標の設定(数値指標)を実施。 ・他事業所の取組を参考にしたい等の意見があつたことから、次年度の事業検討部会はオープン会議の実施及び構成機関以外の事業所より取組報告をしてもらう予定。 ・構成機関の事業所より事業検討部会の取組の横展開として次年度地域と職域向けの研修会の実施の提案あり。次年度の研修会の実施に向けて準備中である。 【課題】 ・地域と連携して健康づくりを行う職域をいかに拡充するか検討する必要がある。	

二次 医療圏	保健所圏域		取組 区分	取組名	実施月	取組分野										目的・対象・内容 等	結果・課題			
						生活習慣病 発症予防			早期発見 重症化予防		生活機能 維持・向上		社会環境 整備		その他					
	●：府管 ○：政中 市	名称				栄養・食生活	身体活動・運動	休養・睡眠	飲酒	喫煙	歯と口の健康	がん検診	重症化予防	ロコモ	フレイル	メンタルヘルス	ヘルスリテラシー・気運醸成	I C T ( P H R 等)	社会環境整備	健康経営
03北河内	●	08四條畷保健所	○	地域・職域連携推進協議会 けんしん・保健指導向上部会	R6年09月	○ ○ ○			○ ○ ○					○		○		健診受診が低い (特にがん健診)	【目的】 働く世代のがん検診受診状況や糖尿病等の患者の実態について理解を深める。 【内容】研修会（地域がん診療連携拠点病院と連携）と意見交換会 ・研修会：日時；令和6年9月27日(金)15時30分～ 内容・講師；一部「がん患者に運動は必要か？～当院のがんリハビリテーションの取組みと課題～」 関西医科大学附属病院 呼吸器腫瘍内科 助教 勝島 詩恵 先生 ；二部「がんについて学ぶ」 関西医科大学附属病院 放射線治療科 診療教授 中村 聰明 先生 対象者；管内事業所の人事、健康管理部門担当者 管内三市健康づくり、人事、国保部門、教育課等 管内医師会、商工会・健保組合等 ・意見交換：日時；未定 対象：管内市健康づくり部門、国保部門、医師会等	【結果】 参加者29人 内訳：職域18人（9事業所） 地域11人（4部門） ・講演後アンケート（回収率90%）の結果より 非常に理解できた・理解できとの回答が100% がん対策について取組めうなこととして職域から「がんに患している方の治療計画に協力する」との意見があつた。 地域からはがん対策の課題として「働く世代、若い世代のがん検診受診率が低い。」「発見例における早期がんの割合が低い。」との意見があつた。 【課題】 ・商工会を通じて講演会の案内を職域へ約2600枚配布したが9事業所のみの参加であった。職域の参加を拡充するためにも開催日時、周知方法等について検討する必要がある。
03北河内	●	08四條畷保健所	●	オープンファクトリー	R6年11月	○			○ ○ ○ ○						○			職域や働く世代や子供への周知啓発が必要	【目的】 働く世代や子どもが健診の受診の必要性や自身の健康づくりについて考えることができる。 【内容】 大東の工場等企業が行うオープンファクトリーにおいて保健所ブースを出展し健康づくりの啓発を行った 【対象】 イベントに参加している幼児から成人及びイベント主催側の事業所職員	【結果】 来場者数198人 保健所ブースの参加者数246人（延数） ・保健所ブースに①ベジチェック②V.O.S.オブジェへの食生活目標記載③タバコ・災害クイズの体験型イベントを設置。体験型イベントでありごどもとその保護者の参加が多かった。 ・子どもの好奇心を刺激するベジチェックやクイズ等により健康づくりを普段意識していない無関心層へも健康づくりの啓発を行うことができた。 【課題】 次年度も健康づくりの啓発の場として啓発内容を検討しより効果的な啓発を行う必要がある。
03北河内	●	08四條畷保健所	●	商工会・商工会議所 健診時の啓発	R6年07月	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○								○ ○			職域において、喫煙率や高血圧該当率が高い。	【目的】 健康に対する意識を高め、生活習慣改善を図る 【内容】 商工会・商工会議所実施の集団健診時にがん検診に関する啓発を行う（通年） 【対象】 管内商工会・商工会議所の健診受診者	【結果】 大東商工会議所 日時：①令和6年7月16日（火）13時30分～16時30分 ②令和6年11月20日（水）13時30分～16時30分 健診受診者：①74名 ②62名 北大阪商工会議所交野支所 日時：令和6年7月30日（火）9時15分～12時 参加者：96名 ・健康に関するリーフレットや啓発物品を配布した。 ・パネルにてがん健診についての啓発、健康に関してどの項目に关心があるか（がん予防、禁煙、栄養バランスの良い、食事、お口の健康、適度な運動）46名に聞き取り調査を実施（複数回答）。 結果お口の健康に関心がある30名、がん予防が29名、バランスの良い食事26名、適度な運動が18名、禁煙が7名であった。 【課題】 健診がスムーズに流れ聞き取り調査を実施する時間が確保できず。働く世代の健康に関するニーズを今後も把握し効果的な啓発実施を検討する必要がある。	
03北河内	●	08四條畷保健所	●	働く世代に対して SNS等啓発媒体を活用した健康情報の発信	R6年04月	○ ○	○	○ ○ ○ ○						○			高血圧有病率が高い。	【目的】 働く世代の健康に対する意識を高め、生活習慣改善を図る 【内容】 減塩食に関するレシピの周知、健康に関する情報の発信。（世界禁煙デー、健康増進普及月間等）（通年） 【対象】 府民	【結果】 ・時間がない働く世代や料理が苦手な人でも調理しやすいような野菜たっぷり簡単レシピを地域活動栄養士会と連携して考案。毎月19日（食育の日）に合わせて、SNSにてレシピを掲載。 ・SNSについて、Instagramのフォロワー数は143、閲覧数は1投稿あたり30～180、いいねの数は1投稿あたり1～15で推移している。一方、Facebookのフォロワー数は139、閲覧数は1投稿あたり15～105、いいねの数は1投稿あたり1～5で推移している。 ・世界禁煙デーや健康増進普及月間に合わせて健康情報を発信。 【課題】 調理動画の要望の声もあるが、職場のパソコン環境では動画作成が困難で個人のスマホ等を活用しなければならない。	
03北河内	●	08四條畷保健所	●	地域に密着した大型スーパーと行政の連携による健康づくり	R6年05月	○ ○	○ ○ ○ ○							○			高血圧有病率が高い。	【目的】 健康無関心層を含めた、市民に対して、地域の健康課題をテーマとした啓発を行う。 【内容】 交野市内大型スーパーマーケット及び交野市と連携し、市民対象にがん検診受診勧奨、高血圧予防啓発事業を実施（年4回実施）。 【対象】 管内在住住民及び府民	【結果】 日時： ①令和6年5月28日（火）10～15時 ②令和6年8月20日（火）10時～15時 ③令和6年11月19日（火）9時45分～14時45分 ④令和7年1月21日（火）（保健所欠席） ・第1回～第3回の参加者は延べ300名。 ・交野市在住者が85%以上を占め、地域住民に対して啓発することができた。 ・参加者の2～6割は通りすがりにイベントに参加しており、健康無関心層にもアピールできた。 ・次年度以降も、引き続き大型スーパーと連携した事業を実施予定。 【課題】 ・現在連携している大型スーパーでの実施内容の成果を基に他のフィールドへの横展開についても検討が必要。	



二次 医療圏	保健所圏域		取組 区分	取組名	実施月	取組分野									目的・対象・内容 等	結果・課題				
	● : 府管 ○ : 政中 市					生活習慣病 発症予防				早期発見 重症化予 防		生活機能 維持・向上			社会環境 整備		その他			
	栄 養 ・ 食 生 活	身 体 活 動 ・ 運 動	休 養 ・ 睡 眠	飲 酒	喫 煙	歯 と 口 の 健 康	が ん 検 診	重 症 化 予 防	口 コ モ	フ レ イ ル	骨 粗 鬆 症	メ ン タ ル ヘル ス	ヘル スリ テ ラ シ ー ( P H R 等 ) 活 用	I C T ( P H R 等 ) 活 用	社 会 環 境 整 備	健 康 經 營	其 他			
04中河内	○	10八尾市保健所	○	八尾市地域職域連携推進連絡会	R7年01月15日												●	・コロナ後、久々の開催で具体的な取り組みにつなげられていなし。まずは課題の共有が必要。 ・前回の連絡会では、中小企業への健康経営について浸透、情報提供や、産業医や産業保健師がいない中でどのように取り組んでいくかが課題であるという意見が出た。	【目的】 地域保健と職域保健の関係機関が連携体制を構築することで、地域の健康課題の解決に向け方策を検討するともに、生涯を通じた健康づくりを目指す 【内容】 テーマ「中小企業の健康経営」 ・地域職域連携推進事業・健康経営について ・自治体における健康づくりの視点からみた健康経営の現状と課題、取組 ・各団体（職域）の現状と課題、取組 ・意見交換 「健診実施率や受診率向上のための取組について」「50人未満の事業所への働きかけについて」 ・情報共有 【対象】 医師会、歯科医師会、薬剤師会、商工会議所、労働基準監督署、地域産業保健センター、産業保健総合支援センター、中小企業労働者福祉サービスセンター、全国健康保険協会、公衆衛生協会、市関係課	【結果】 連絡会前に職域の参加団体へ訪問し事前ヒアリングを行い課題について明確にできた。連絡会当日は各職域の団体の現状や課題、取組等を地域側の参加者に共有できた。また、意見交換では職域の団体で抱える課題をテーマとし、各団体の取組について共有できた。 【課題】 今後も関係機関の顔つなぎの場、情報共有の場、お互いの取り組みを知る中で、できることから協力を確認する場として、引き続き連絡会の開催が必要である。
04中河内	○	11東大阪市保健所	○	東大阪市地域・職域連携推進協議会	R6年10月			○	○	○			○		○	○	①健康経営に取り組む事業所がまだ少ない ②がん検診や成人歯科健診、特定健診の受診率が低ヘルスリテラシーに課題がある	【目的】 地域保健と職域保健の連携を図り、地域の生活習慣病の予防及び健康寿命の延伸を図るために、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供および健康管理体制を整備・構築する。 【内容】 ・関係機関へ健康関連の課題と取組のヒアリング ・健康に関する情報の共有・ニーズの把握 【対象】 協会けんぽ、市内事業者、商工会議所、生命保険会社、地域産業保健センター、労働基準監督署、医師会、歯科医師会、府内関係課、薬剤師会	【結果】 健康課題の共有、問題点の共有をはかった。 【課題】 がん検診、成人歯科健診、特定健診の受診率が低く、ヘルスリテラシーに課題がある。	
04中河内	○	11東大阪市保健所	○	健康経営推進部会	R7年01月										○	○	○	中小企業の健康経営の取り組みや健康診断や二次健診の受診状況など実態が把握できていない。	【目的】 健康経営を推進し、(中小企業で)働く人が健康になるための方策を検討する 【内容】 ・企業の実態把握のためのアンケート調査 ・参画団体がもつ健康経営のノウハウの共有やアンケート調査の手法等検討 【対象】 労働基準監督署、地域産業保健センター、市内事業者、商工会議所、協会けんぽ、医師会、歯科医師会、薬剤師会、生命保険会社、府内関係課	令和7年1月23日 左記に同じ
04中河内	○	11東大阪市保健所	○	啓発活動部会	R7年02月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	がん検診や特定健診、歯科健診の受診率が低い。 国や府と比較して健康寿命が低い	【目的】 地域で働く人のヘルスリテラシー向上のため、方策を検討する。 【内容】 ・がん検診や特定健診、定期健診の受診の必要性を周知 ・若い頃からの歯科口腔保健対策 歯科健診を受診する 【対象】 市内事業者、商工会議所、協会けんぽ、医師会、歯科医師会、薬剤師会、生命保険会社、府内関係課	令和7年2月6日 実施予定	
04中河内/05南河内	●	12藤井寺保健所	○	地域・職域連携推進協議会	R7年03月				○					○		○	管内の健康寿命延伸（令和6年度は職域への5部位の市がん検診啓発による受診率向上）	【目的】 協議会で承認された活動結果報告、および健康課題を参加委員と共有、協議することにより、さらなる協働につなげる。 【内容】 5年度の協議会で承認された、今年度の職域への市がん検診受診啓発の協働活動の結果報告や、管内の健康課題に関するデータ等を共有し、今後の活動について協議を行う。 【対象】 管内4市の医師会、商工会および商工会議所、市国保課および保健衛生担当課、協会けんぽ、労働基準監督署	3月11日（火）開催予定	
04中河内/05南河内	●	12藤井寺保健所	○	地域・職域連携推進協議会 管内4市共通啓発資材作成ワーキング会議等	R6年04月				○					○	○	○	管内の健康寿命延伸（令和6年度は職域への5部位の市がん検診啓発による受診率向上）	【目的】 令和5年度の協議会にて承認された、市がん検診の受診率向上および、職域への市がん検診受診啓発資料作成を通しての管内4市のがん検診担当者の協働。 【内容】 管内4市共通の市がん検診受診啓発資料作成のための会議等を実施。 【対象】 管内4市のがん検診担当者	【結果】 管内4市の担当者による電子ツールを用いたディスカッションおよび集合会議を通じ、課題共有や連携をはかった。 【課題】 今後の方向性および課題共有等については、協議会にて報告、検討予定。	
04中河内/05南河内	●	12藤井寺保健所	●	管内4市共通啓発資材「市がん検診啓発ミニポスター」作成	R6年07月				○					○	○	○	管内の健康寿命延伸（令和6年度は職域への5部位の市がん検診啓発による受診率向上）	【目的】 市がん検診受診率向上。 【内容】 管内4市共通啓発資料ミニポスターの作成。 【対象】 管内4市の商工会・商工会議所等より紹介された事業所の従業員。	【結果】 職域被雇用者向けに、管内4市共通の啓発資料を作成した（6月） 【課題】 今後の方向性および課題共有等については、協議会にて報告、検討予定。	

二次 医療圏	保健所圏域		取組 区分	取組名	実施月	取組分野										目的・対象・内容 等	結果・課題				
	● : 府管 ○ : 政中 市					生活習慣病 発症予防					早期発見 重症化予 防		生活機能 維持・向上			社会環境 整備		その他			
	●	名称				栄 養 ・ 食 生 活	身 体 活 動 ・ 運 動	休 養 ・ 睡 眠	飲 酒	喫 煙	歯 と 口 の 健 康	が ん 検 診	重 症 化 予 防	口 コ モ	フ レ イ ル	骨 粗 鬆 症	メ ン タ ル ヘル ス	ヘル スリ テ ラ シ ー ・ 気 運 醸 成	I C T ( P H R 等) 活 用	社 会 環 境 整 備	健 康 經 営
04中河内/05南河内	●	12藤井寺保健所	●	啓発対象事業所にかかる商工会・商工会議所と、市がん検診担当課との調整等	R6年07月					○						○		管内の健康寿命延伸（令和6年度は職域への5部位の市がん検診啓発による受診率向上）	【目的】市がん検診受診率向上。 【内容】商工会・商工会議所と、市がん検診担当課との調整 【対象】管内4市の商工会・商工会議所および市がん検診担当課等	【結果】管内4市の市担当者および商工会・商工会議所等間の連絡調整等を実施。商工会・商工会議所等からの紹介事業所への市担当者による事業所への訪問啓発：11か所商工会互助会員への啓発資料発送等 【課題】今後の方向性および課題共有等については、協議会にて報告、検討予定。	
04中河内/05南河内	●	12藤井寺保健所	●	事業効果把握のための対象事業所等に対する調査	R7年01月					○						○		管内の健康寿命延伸（令和6年度は職域への5部位の市がん検診啓発による受診率向上）	【目的】啓発活動対象事業所に対する効果判定。 【内容】郵送によるアンケート調査。 【対象】啓発活動対象事業所	【結果】協力を得られた実施事業所11か所に対し、事業所での反応および受診行動への効果について調査中（定性）。 【課題】今後の方向性および課題共有等については、協議会にて報告、検討予定。	
05南河内	●	13富田林保健所	○	富田林保健所地域・職域連携推進協議会	R6年12月										○	○		地域と職域の連携強化 働く世代の健康づくり	【目的】働く世代への健康づくりについて取組みの検討を行う ・生活習慣病を予防へのアプローチを検討する ・メンタルヘルスの課題がある対象者へのサポート 【内容】令和6年度富田林保健所地域・職域連携推進協議会の取組み ・メンタルヘルス休職者があも1度働くための3つのサポート（講義） 講師：上島 医院 院長 澤美 正彦 氏 【対象】 ・地域（市町村、医師会、歯科医師会、薬剤師会） ・職域（協会けんぽ、商工会、地域産業保健センター） ・有識者（近畿大学）	【結果】令和5年度の協議会において、課題や取組みたいテーマをアンケートで聴取。アンケート結果からカテゴリー分けを行い保健事業関連「健康づくり関連」「メンタルヘルス関連」の3つに対し、それぞれ取組みを実施。「保健事業関連」「健康づくり関連」は協議会以外で取組みを行い、協議会では、「メンタルヘルス」関連について、テーマを設定した。 ・協議会参画メンバーの所属する機関において、周知、対応力向上を図るため、復職支援について講義を実施し、知識向上につながった。 【課題】協議会において、具体的な取組みの検討、実施までは難しい状況。特に職域の協力が得られず、具体的な取組みへつながらない。 参加者：25名	
05南河内	●	13富田林保健所	●	働く世代の健康づくり会議	R7年01月										○	○		働く世代の健康づくり	【目的】すでに健康に関心のある事業所に対し、健康づくりの取組みについて意見交換等を行うことを通して、さらなる取組みの推進を図る。 また、参加事業所からニーズを聴取し、管内全体の健康づくりの取組みに生かす。 行政と事業所のつながりを新たに作ることで、行政から働く世代へのアプローチルートとして活用する。 【内容】 ・働く世代の健康づくり会議とは ・事業所の健康づくりの取組み紹介 株式会社サイバー金属工業所 ・意見交換 【対象】管内事業所のうち、健康経営優良法人認定事業所、協会けんぽ健康宣言事業所、健康づくりに関心のある事業所の健康づくり担当者	【結果】参加者：事業所8名、市町村国民健康保険課3名 ・地域の実情に合わせ、働く世代からの健康づくりの重要性について周知できた ・すでに健康づくりの取組み実施している事業所が他の事業所の取組みを知り、自身の事業所で実施しようと考へてもらえた ・市町村事業を事業所へ情報提供できた（健康診査、出前講座、健康教室等について） ・意見交換会では具体的な取組み等について、活発に意見交換が行われていた。 【課題】事業所と連携を図り、健康づくりの取組の浸透を図る 商工会、地域産業保健センターなどの職域と連携することが必要	
06堺市	○	14堺市	○	堺市健康増進に関する連携協定締結企業担当者会議	R6年05月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		働く世代に向けた健康増進に関する知識の普及、周知が十分にできていない。	【目的】堺市の各種健（検）診の受診勧奨や、市民の健康増進や生活習慣の改善を目標に意見交換をし、連携した取組の検討。 【内容】市のプランや施策、取組の共有。GWを通じ、他企業の取組の共有。 【対象】堺市健康増進に関する協定締結企業・堺市包括連携協定締結企業(健康分野の取り組みがある企業のみ)、その他堺市の健康増進に協力している企業	【結果】5月14日に会議開催し、11社の参加あり。昨年度末に策定した「さかい健康プラン」の周知と、健康課題解決に向けた市の取組の共有ができた。 ・またグループワークより、移動販売車による「がん検診啓発」という新たな取組も開始した。 【課題】働く世代に向けた健康増進に関する知識の普及、周知はまだ十分ではなく、より企業と連携し、新たな取組の検討が必要である。	
06堺市	○	14堺市	●	さかい健康フェスティバルinイオンモール堺鉄砲町	R6年09月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		働く世代に向けた健康増進に関する知識の普及、周知が十分にできていない。	【目的】働く世代・子育て世代をターゲットに、ショッピングモールを活用した健康フェスティバルを行い、健康意識の向上を行う。 【内容】ショッピングモールの催し広場で健康チェックブースやミニ健康講座を開催。 【対象】堺市民 【関係機関】堺市医師会、堺市包括連携協定締結企業(ショッピングモール)、堺市健康増進に関する協定締結企業(生命保険会社、製薬会社)、がん相談支援センター、理学療法士会	【結果】9月14日にイオンモール堺鉄砲町にて開催した。医師会や協定企業等と連携し、主に働く世代にアプローチできるように工夫を凝らした。 ・約500人程度の市民にアプローチできた。		
06堺市	○	14堺市	●	健康づくりパートナー事業所への情報提供	R6年07月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	堺市内の中小企業が健康に関する情報を知り、職場内の健康増進に取り組むことができる。	【結果】対象である174事業所に、郵送やメールにて、講座の開催や堺市内相談窓口の案内、大阪府からの情報提供などの健康に関する情報提供を行った。 【課題】堺市健康づくりパートナー事業所が、届いた健康情報の使用状況について評価できていない。次年度以降、健康宣言等を鑑みた制度変更予定であり、この情報提供方法も検討が必要である。		

二次 医療圏	保健所圏域		取組 区分	取組名	実施月	取組分野										目的・対象・内容 等	結果・課題					
	●：府管 ○：政中 市					生活習慣病 発症予防					早期発見 重症化予 防		生活機能 維持・向上			社会環境 整備						
	●	名称				栄 養 ・ 食 生 活	身 体 活 動 ・ 運 動	休 養 ・ 睡 眠	飲 酒	喫 煙	歯 と 口 の 健 康	が ん 検 診	重 症 化 予 防	口 コ モ	フ レ イ ル	骨 粗 鬆 症	メ ン タ ル ヘル ス	ヘル ス リ テ ラ シ ー (P H R 等) 活 用	I C T	社 会 環 境 整 備	健 康 經 營	其 他
06堺市	○	14堺市	●	就労者対象歯科検 診事業	R7年01月、02月				○	○							○		就労世代における定期的な歯科検診の受診状況は芳しくなく、その背景には検診のために時間を割くことが難しいといった実情が見受けられる。	【目的】 就労世代の口腔内環境の改善・健康寿命の延伸 【内容】 就労世代に向けた企業向けの歯科検診を導入する。 具体的には以下とおり。 ①対象となる企業の全従業員に対して、歯・口腔に関する事前の問診を実施 ②対象企業へ歯科医師及び歯科衛生士を派遣し、歯科検診を実施 ③事前の問診内容と検診結果を基に、口腔衛生指導を個別に実施 ④結果に応じて歯科医院への受診勧奨 【対象】 市内の中小企業で働く従業員	【結果】 ・1企業、22人の歯科検診、結果に基づく簡単な保健指導を実施した。(2月に1企業予定) ・約7割が定期的に歯科検診を受けていない状況であり、自身の口腔状況を知る良い機会となった。 ・口腔内のトラブルを抱える就労者が多いこと、またアンケートより、オーラルフレイルの認知度低さなどの現状把握ができた。 【課題】 ・今後継続的に事業展開していくための手法等の検討が必要である。 ・また、今回知り得た現状から働く世代への効果的な歯科口腔分野をはじめとしたにおけるアプローチ方法を検討していく。	
06堺市	○	14堺市	●	健康経営基礎セミ ナー	R7年03月												○	○	行政の取組のみでは、就労世代への健康増進に向けてのアプローチが届きにくい。	【目的】 ・本市では、市民の健康寿命を延ばすため、成人期や壮年期における生活習慣病の予防が重要と考えています。 ・そのため、事業所が従業員の健康増進活動を積極的に推進することを支援しています。 ・このセミナーでは、健康経営の重要性を市内企業に伝え、従業員の健康増進に取り組む事業所を増やすことをめざします。 ・また、セミナーをきっかけに関係機関や府内関連部署と顔の見える関係の構築を図ります。 【内容】 健康経営に関する基礎的な講義 市内企業の取組事例紹介 協会けんぽの取組紹介 健康チェック体験会（企業及びスポーツ部局のブース出展） 【対象】 市内企業経営者、管理者、総務担当者など	【結果】 ・商工会議所、協会けんぽと連携した取組が実現できた。 ・府内の産業振興やスポーツ関連部署などと連携した取組が実現できた。 ・セミナーの開催は3月のため、参加実績は現段階では不明。 【課題】 ・健康経営に興味をもつ企業を増やすための手法を検討する必要がある。 ・健康経営に関する取組は今年度始まったばかりであり、事業として体系化する必要がある。	
07泉州	●	15和泉保健所	◎	地域・職域連携推進 連絡会	R7年01月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	健診受診率の向上	【目的】 地域及び職域において健康課題の共有と課題解決に向けた方策を検討 【内容】 ①和泉保健所管内における健康指標について ②健康づくり事業（ワーキング）の取組み報告と事例発表 ③各機関の健康づくりの取組報告と意見交換 【対象】 地区医師会・市町国民健康保険担当・市町健康づくり担当・商工会議所・商工会・労働基準監督署・地域産業保健センター・協会けんぽ	【結果】 地域、職域の各機関が情報共有・意見交換を通して健康づくりの必要性、連携の重要性を確認できた。 【課題】 共通する健康課題としての健診受診率の増加にむけ、地域・職域が連携した健康づくりへの取り組みを推進するため中期的な目標、計画を立てることが必要。	
07泉州	●	15和泉保健所	○	地域・職域連携推進 ワーキング	R6年05月～R7年 2月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	健診受診率の向上	【目的】 管内市町・協会けんぽの健康づくりの取組について意見交換 ●管内商工会議所・商工会との連携について ●がん検診、特定健診の受診率向上に向けた取組 ●職域との連携について 【時期】 ①健康づくりの取組についての意見交換、がん検診・特定健診受診率向上に向けた取組の検討等（5月） ②糖尿病性腎症重症化予防における講演会等の共同実施についての検討（7月）（市町国保担当、協会けんぽのみで実施） ③ナッジ理論を活用したけんしん（健診・検診）受診率向上のための啓発ポスター等の媒体作成（9月） ※ナッジ理論を活用した媒体づくりのための講義+グループワーク（講師）大阪府政策企画部企画室連携課 ④けんしん（健診・検診）受診率向上のための啓発ポスター活用のための検討等（2月予定） 【対象】市町国民健康保険担当、市町健康づくり担当、協会けんぽ大阪支部	【結果】 ・今年度から協会けんぽの担当者を招き、職域保健の実情を共有するとともに、地域・職域で連携した事業の展開を検討することができた。 またけんしん（健診・検診）受診率向上のための啓発ポスターの作成できたため、来年度以降啓発を実施し、評価を行う予定。 【課題】 健康課題が各機関により異なるため、ワーキング共通で取り組むことが難しい場面が見られる。	



